

第 54 回 須坂市ソフトボール大会

- 1 目的 ソフトボールの普及発展と地域ぐるみの体力づくり、仲間づくりを進め、明るい交友関係を深めるとともに、日常的スポーツ人口の拡大を図ることを目的とする。
- 2 主催 須坂市
- 3 共催 須坂市ソフトボール協会（予定） （一社）須坂市スポーツ協会（予定）
- 4 協力 須坂市スポーツ推進委員会（予定）
- 5 期日 2025年8月17日(日) 【雨天中止】
- 6 会場 県民須坂運動広場

7 参加資格及びチーム編成

- (1) 市民により編成されたチームで、各ブロックの代表であること。
- (2) ブロックの代表チーム数（合計 12 チーム）は、原則下表のとおりとする。

ブロック	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
出場チーム数	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1

- (3) 申込期日に 12 チームに満たない場合は、事務局と競技の上、昨年度大会優勝チームの所属するブロックより選出することとする。なお、同ブロック内の最大出場チーム数は 2 チームまでとする。また、上記の方法でも 12 チームに満たない場合は再度事務局で協議する。
- (4) 各ブロックからの代表チームは、原則として町(区)単位とする。
ただし、事情により町(区)単位の出場が困難な場合は、同ブロック内の町(区)との合同出場を可とする。
※ただし、合同で出場する場合は、参加申込書に合同の町名すべて記入の上、提出することとし、合同出場の場合のチーム名は、合同町を全て記載したチーム名とする。
- (5) ベンチ入りは、監督・コーチを含めて、20 人以内とする。
- (6) 各年代で、次の人数が選手として試合に出場していなければならない。(5 ページ補足参照)
・20 代若しくは 30 歳代 2 名 ・40 歳代 4 名 ・50 歳以上 3 名
ただし、① 投手は 40 歳以上(男性)または女性(年齢制限なし)とする。
※ただし、女性が投げる場合は、男子と同じ距離とする。
② 上年代の者が下年代として出場することができる。
③ 女性(高校・大学生可)については、年齢制限なしとする。
(女性はどの年齢でもいいので今迄通りとする。)
- (7) 年齢表示(男性のみ)(左肩につける)
 - ① 2、30 歳代は、左肩に緑色テープをつける。
 - ② 40 歳代は、テープを付けない。
 - ③ 50 歳代以上は、左肩に赤色テープをつける。※テープは、主催者側で準備し、各ベンチに置いておく
- (8) 2025 年 8 月 17 日現在の満年齢とする。
※参加申込書にも 8 月 17 日現在の満年齢を記載する

8 競技規定および方法

- (1) 2025 年度オフィシャルソフトボールルールに準じる。
(故意四球・テンポラリーランナーについてもオフィシャルルールを適用する)
また、DP・FP 制(指名選手制)及び再出場ルールを採用する。
- (2) 使用球は、日本ソフトボール協会検定 3 号ゴム球とし、バットについても検定 3 号バット(JSA マーク入)とする。
- (3) 打者・走者はソフトボール専用の両耳用ヘルメット、捕手のヘルメット及びキャッチャーの

スロートガード付マスク、プロテクター、レガースは各チームで用意し着用を義務づける。
※捕手用ヘルメットはJ S Aマーク入り、捕手用マスクはS Gマーク入りとする。

- (4) ダブルベースを使用する。
- (5) Aブロック、Bブロックの2ブロック制とする。
・各ブロックで予選リーグを行い、予選を勝ち抜いた各ブロックのチーム同士で決勝を行う。
- (6) 試合は5回戦か試合開始から55分経過後は、新しいイニングに入らない。
- (7) コールドゲームはないものとする。
※ただし、特別な事情により、両者の同意があった場合はこの限りではない。
- (8) ファールボールは、そのベンチ側で処理する。
- (9) 各コート内はフリーとする。
- (10) 組み合わせは監督主将会議の抽選において決定する。
- (11) 塁審・ボールボーイは、試合のないチームの選手が分担して行う。
- (12) 試合開始時間はおおむね下記のとおりとするが、追い込み方式で行うので、前の試合の進行状況に注意し、所定のグラウンドへ集合する。

(予選)

第1試合 8:00~9:00 第2試合 9:20~10:20

第3試合 10:40~11:40

(決勝)

決 勝 12:00~13:00

- (13) 打順表は、各試合30分前までに、コートへ提出する。(打順表は主催者側で準備する)
※用紙の仕様上、年齢の記載欄がないため、氏名・ふりがなの横に記入する。
- (14) 時計係は、会場係員(スポーツ推進委員)が行う。
- (15) 予選リーグにおける順位決めは以下の通り行う
 - ①勝利数の多いチーム
 - ②①が同率の場合は、得失点差
 - ③②が同率の場合は、失点数※③まで決まらない場合は、チーム代表者による抽選とする。
- (17) 決勝戦試合終了時に同点だった場合は、その時点の出場選手9名による抽選を行い、当たりが多いチームの勝ちとする。
- (18) その他は監督主将会議で決める。

9 8以外での注意事項

【攻撃側のチーム】

- (1) 投手がセットしたら、攻撃側の選手および応援の方は何も言っていけません。
※打者に球種やコースなどを教えていると思われるため。
- (2) バッターボックスには片足は入れておく必要があります。
※両足をバッターボックスより外した場合はペナルティー1ストライクになります。
- (3) 1塁に出た時に、オレンジベースのみを踏んでいた場合は投球に入ったタイミングで「離塁アウト」になります。
- (4) 監督がタイムを取れる回数は1回中に1回のみです。
- (5) 打者走者や走者がインプレイ中にベンチに戻った場合は、「走塁放棄」でアウトになります。
- (6) ネクストバッターズサークルに選手がいない場合、バットはベンチに入れておいてください。
- (7) 投球練習を行っている時は、次の打者はネクストバッターズサークルで待っていてください。
※投球距離が短いため、近くにいと当たる危険性があるため。
- (8) ネクストバッターズサークルでは素振りは危険防止のため禁止です。
※また、ベンチ内でも素振りは禁止です。
- (9) テンポラリーランナーを有効に使ってください。
※誰が変わるか分からない場合は審判員に確認してください。
- (10) 代打や代走で出場した選手が守備につくときは、守備位置を球審に伝えてください。
例) 代打で出場したユニホーム番号8はそのままライトに入ります。

【守備側のチーム】

- (1) 守備につくときは駆け足でお願いします。また、捕手がレガースを着けている時は他の選手

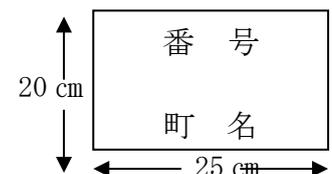
- がマスクを着用して投球練習を行ってください。
- (2) サングラスは掛けていない場合は、装飾品と見なしますのでベンチへ置いてください。
※サングラスを帽子の上にのせている場合など。
 - (3) デッドラインを越えてフライを捕ってもアウトになりませんので、怪我のないようにしてください。
※ダイビングキャッチをしてもデッドラインより超えている場合はファールです。
 - (4) 投球練習は、基本的に1回と投手交代の時は5球、2回以降は1分以内で3球になります。
 - (5) 投手が捕手以外とキャッチボールを行った場合も投球練習になります。
また、既定の投球練習より多く投げた場合は1球毎に1ボールになります。
例) 2回表に三塁手と5球のキャッチボールをした場合、先頭打者のカウントは2ボールから始まります。
 - (6) 監督が選手で出場している場合、マウンド上で一緒に打合せした時は正式な打合せとみなします。
※4回の打合せを行った場合は投手を交代する必要があります。
 - (7) 投手が以下の動作だった場合、不正投球になり打者に1ボール、走者に1つの進塁権が与えられます。1回は注意しますが、気を付けてください。
 - ・セットを2秒以上完全停止しないとき。
 - ・軸足がプレートを踏んでいないとき。
 - ・プレートを踏んだまま捕手からの送球を受け取り、グローブに手を入れて投げなかったとき。

【その他】

- (1) 監督が選手として出場する場合は控え選手名欄に必ず記入してください。
- (2) 打順表は4枚すべてを提出してください。(打順表は主催者側で用意します)
※チェック後、自チームと相手チームを1枚ずつお渡しします。
- (3) ベンチには、背番号を付けたオーダー票に記入されている選手しか入れません。
※区長や分館長は選手でない限りベンチには入れません。
- (4) ヤジなどのスポーツマンシップに違反する行為があった場合は退場とします。
※退場となった方は球場の場外に移動してください。
- (5) 選手交代は必ずユニホーム番号(背番号)で球審に伝えてください。
守備側の場合は、選手交代を先に伝え、その後に変更になる守備位置を伝えてください。
例1) 代打の場合
ユニホーム番号6に代わり、ユニホーム番号7が代打で出場します。
例2) 選手交代と守備位置変更の場合
①ユニホーム番号3に代わり、ユニホーム番号1が出場します。
②ユニホーム番号4のセカンドがファーストに、ユニホーム番号5のファーストがピッチャーに、ユニホーム番号1がセカンドに入ります。
- (6) 再出場は必ず球審に伝えてください。
例) ユニホーム番号6が再出場します。
- (7) 塁審を行う方は基本的にソフトボールのルールを知っている方をお願いします。
※ソフトボールの経験のない、分館役員が行うことはないようにしてください。
- (8) ルールでは無通告違反、DP違反などは相手チームからのアピールになりますが、ルールを知らない町もありますので、審判員より出来ない旨を注意します。

10 服装及びゼッケン(ユニホームや背番号がないチームの場合)

- (1) 競技のできる服装とする。
- (2) 金属スパイクは禁止する。
- (3) 背番号はチーム(町)名・背番号の表示されているユニホームはそのままでもよいが、その他の服装については、おおむね右の背番号を背につける。



11 表彰等

- (1) 表彰式(各ブロックごと各コートで行う)
 - ① Aブロック優勝・準優勝チームは、決勝戦終了後、県民須坂運動広場Aコートで、表彰式を行う。

② Bブロック優勝・準優勝チームは、決勝戦終了後、県民須坂運動広場Cコートで、表彰式を行う。

(2) 優勝・準優勝（各ブロック）

① 優勝チーム・・・優勝杯(もちまわり)・賞状を、表彰式にて贈呈。

② 準優勝チーム・・・準優勝杯(もちまわり)・賞状を、表彰式にて贈呈。

12 申込み（FAX不可）

(1)申込期日：7月1日(月)から7月16日(水)まで

各ブロック代表チームは参加申込書に必要事項を記入し7月16日(水)までに事務局へ申込み。

13 監督・主将会議

(1)日時 8月4日(月)午後7時から ※参加町へ別途通知する。

(2)会場 創造の家1階軽運動室。

(3)抽選 受付順でくじを引く。

(4)監督主将会議は、会議室の大きさを考慮し、原則1チーム1名(当日参加する方)の出席とする。

(5)補助員(ボールボーイ)等の割振りについては監督主将会議時に説明する。

(6)監督主将会議での競技上の説明をもって開会式の代わりとする。

14 その他

(1) 受付は県民須坂運動広場管理棟前で午前7時15分から7時30分までに行う。

受付時は以下のことを行う。

① 出欠の確認 ※「〇〇町、参加します。」と受付に声をかける。

② 当日の組み合わせ表を受け取る。

(2) 登録選手の変更は、監督主将会議時までとする。

※期日を過ぎたものに関しては、一切受け取らない。

(3) 大会当日の登録選手の変更は認めない。

(4) 番号の若いチームを1塁側ベンチとする。

(5) 態度決定について

①雨等により、グラウンドコンディションが悪い場合は、市・ソフトボール協会双方の合意により、中止等の判断を行う。

②態度決定時間 午前6時

③係事務局より、参加申込書の申込責任者へ午前6時から午前6時30分までの間で連絡を行う。

(6) 保険等

①各チームは傷害保険に加入すること。競技中に発生した傷害については、主催者は応急処置のみ行うが他の責任は一切負わない。

②参加者は健康チェックを充分に行い、事故のないように気をつける。

(7) 昼食時間は特にとらない。

(8) 駐車場については、次の場所を利用すること。(下記以外は駐車禁止)

臥竜公園庭球場前、野球場西側百々川緑地、看護学校東側

(9) 審判員集合時刻について 7時00分(県民須坂運動広場管理棟前)

(10) 事務局側で撮影した写真を、事業記録や広報に使用することがあります。

(11) 天候等による中止(中断)の判断は、審判員が協議して判断する。

(12) WGBT値が28を超えた場合、熱中症予防の観点から競技を中断する場合があります。

(13) B、Dコートは、簡易ベンチは各ベンチ2つ、簡易テント1つを設置する

(14) その他必要と思われるものは各自で用意する。

15 事務局 須坂市社会共創部文化スポーツ課スポーツ振興係

〒382-0028 須坂市臥竜6丁目25-1

電話 026-248-2020 (係専用) FAX 026-248-1981

電子メール bunkasports@city.suzaka.nagano.jp

【開催要項・参加申込書・選手変更届】ダウンロード先(ページID検索:6213)
須坂市ホームページ(トップ) > 観光・文化・スポーツ > スポーツ > スポーツ大会・イベント
> 市主催スポーツ大会に関する事(ゲートボール・ソフトボール・ソフトバレーボール・卓球等)

8 参加資格及びチーム編成(5)の補足

○攻撃時

- ・FPを除いてコート上に以下の人数がいることとする。

20～30代 男性	2人以下
40代 男性	4人以下
50代 男性	3人以上

※女性は年齢制限がないため、何人でも参加可能。

○守備時

- ・DPを除いてコート上に以下の人数がいることとする。

20～30代 男性	2人以下
40代 男性	4人以下
50代 男性	3人以上

※女性は年齢制限がないため、何人でも参加可能。

FP・DPの年齢、兼任の有無は各チームの判断とするが、試合を行うチームは以下の制限を必ず守ってください。

※20～30代男性は2人以下

40代男性は4人以下

50代男性は3人以上 の人数は必ず守るようにすること